

平成16年11月

お客様各位

株式会社 陽進堂

「効能・効果」「用法・用量」
追加のお知らせ

H₂受容体拮抗剤
ニザトリック顆粒 15%
(ニザチジン製剤)

今般、平成16年11月2日付で、弊社の「ニザトリック顆粒 15%」につきましては下記の通り、「効能・効果」「用法・用量」が追加承認されましたのでお知らせ申し上げます。(____部：追加箇所)
今後のご使用に関しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

	追加後	追加前
効能・効果	胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎 <u>下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善</u> 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期	胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎
用法・用量	○胃潰瘍、十二指腸潰瘍 通常、成人にはニザチジンとして1回150mgを1日2回（朝食後、就寝前）経口投与する。また1回300mgを1日1回（就寝前）経口投与することもできる。なお、年齢、症状により適宜増減する。 ○逆流性食道炎 通常、成人にはニザチジンとして1回150mgを1日2回（朝食後、就寝前）経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <u>○下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善</u> <u>急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期</u> 通常、成人にはニザチジンとして1回75mgを1日2回（朝食後、就寝前）経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	○胃潰瘍、十二指腸潰瘍 通常、成人にはニザチジンとして1回150mgを1日2回（朝食後、就寝前）経口投与する。また1回300mgを1日1回（就寝前）経口投与することもできる。なお、年齢、症状により適宜増減する。 ○逆流性食道炎 通常、成人にはニザチジンとして1回150mgを1日2回（朝食後、就寝前）経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

※「使用上の注意」に変更はございません。

以上